

》 1 日頃の備え 飼い主編

04 ペット用の避難用品や備蓄品の確保



災害時には人命救助が優先となるため、ペットのための救援物資の到着には時間がかかることがあります。ペットの健康や命に係わるものを優先し、避難の際に持ち出せるようペット用持ち出し袋にまとめ、準備しておきましょう。

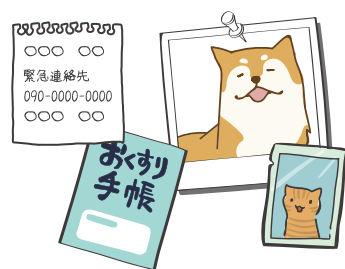
優先順位1 ペットの健康や命にかかわるもの

- ペットフードと水（少なくとも5日分） 食器
- キャリーバッグやケージ
(猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム。避難所ではケージでの飼育が基本となります)
- 首輪(予備)、リード(伸びないもの)
- 服用中の薬・療法食 トイレ用品(ペットシート、猫砂、ビニール袋など)



優先順位2 飼い主がペットの情報を記録したもの

- 飼い主の連絡先、飼い主以外の緊急連絡先、預け先などの情報
- ペットの写真(ペットが行方不明になったときに役立ちます)
- ペットの記録
(狂犬病予防注射やワクチンの接種状況、既往症、薬の情報)
※ペットの健康手帳のようなもの



優先順位3 ペット用品

- タオル、ブラシ お気に入りのおもちゃなど臭いがついた用品
- ガムテープやマジック 新聞紙・バスタオル



05 安全な避難のための情報収集

避難場所、避難経路、避難にかかる時間、ペットの受入れ状況などを確かめておきましょう。避難所で受入れが困難な時のために、動物病院、ペットホテル、親せきや友人など、一時預かり先についても探しておきましょう。



避難所に同行できるペットとできないペット

避難所で飼育できる動物は、原則として、ペットとして飼育されている犬や猫、小動物（うさぎ、ハムスター、小鳥）など比較的小型の動物です。



管理が困難な動物については、原則として避難所での受入れはできません